



田村市立都路中学校

学校だより 第15号

令和6年7月19日(金)
発行責任者：校長 佐藤 仁
TEL：0247-75-2009

めざす生徒像：自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

めざす学校像：志を育む学校 学び合い、高め合う学校 信頼され、愛される学校

がんばれ！ 女子バレーボール部

7月22日(月)から始まる県中学校体育大会バレーボール競技の壮行会が行われました。女子バレーボール部員一人一人が大会に向けての目標や決意を体育館中に響き渡るほどの大きな声で堂々と発表しました。その姿は大変凛々しく、県大会にかける意気込みが伝わってきました。大会まで残りわずかです。練習と休養のバランスをとりながら、試合当日に気力・体力がピークになるように調整してほしいと思います。

【生徒代表激励の言葉】 生徒代表 W・Sさん

バレー部のみなさん、県大会出場おめでとうございます。
皆さんがバレー部に入部してからの三年間、自主練や遠征、毎日の練習など、努力を積み重ねて強くなっていく様子を同級生として見てきました。その努力の成果を発揮する機会が来ました。来週にはとうとう県大会が行われます。緊張していると思いますが、その緊張を力に変えて、一人一人が自分の役割を果たし、勝ち進んでほしいと思います。そして東北大会出場、いや、全国大会出場を目指して頑張ってください。
皆さんなら、都路中学校の伝統ある女子バレーボール部の最後に素晴らしい功績が残せると思います。大会当日、私たちは見に行くことはできませんが、心から応援しています。頑張ってください。



【選手代表お礼のことば】 選手代表 M・Kさん

今日は、私たちのためにこのような会を開いてくださりありがとうございました。私たちは東北大会出場を目標にこれまで練習をしてきました。一人一人最大限の力を出し、良い結果を報告できるよう精一杯頑張ってきました。応援、よろしくお願いします。



【校長から】

バレーボール部の皆さん、改めて、県大会出場おめでとうございます。
皆さんには、周囲からの期待や重圧に負けず、県大会への出場権を獲得したことに自信を持ってほしいと思います。
県大会出場をかけた郡山一中戦は、みなさんの心の強さを感じた試合でした。前の試合で惜しくも負けてしまい、気持ちの切り替えや体力を回復させるための十分な時間がない中で迎えた試合でした。1セット目26-24、2セット目25-23とどちらが勝ってもおかしくない試合展開の中で、試合終了まで集中力をきらさずプレーし続け、勝利し、県大会出場を決めました。試合中、みなさんが必死でボールを追う姿、互いに声をかけ合い励まし合う姿、長いラリーの後、得点できて6人全員で円になって喜び合う姿、とても素敵でした。
先生がうれしかったのは、みなさんを応援する保護者やご家族、地域の方々の姿です。みなさんの一つ一つのプレーに全力で声を出し、全力でメガホンをたたいて応援していました。県大会出場を決めた時の保護者の皆さんの興奮した表情やほっとした表情は今でも鮮明に覚えています。先生も数人の方とハイタッチをして喜びを共有しました。みなさんのがんばりが家族や地域の方々に元気を与えていると強く感じました。
県大会の壁を打ち破ることは、決してたやすいことではありません。しかし、自分たちがこれまで積み重ねてきたことを信じて、まずは県大会1回戦の壁を打ち破ることに集中し、万全の準備をしてください。ピンチの時、苦しい時こそ、都路らしいチーム力、我慢強さや粘り強さを発揮して、納得のいくプレーをしてきてください。
バレーボール部の皆さんのがんばりは、全校生、ご家族の方々、地域の方々に元気を届けています。皆さんの健闘を心から祈り、校長あいさつとします。皆さん、がんばってきてください。

教育相談、ありがとうございました

7月16日(火)から19日(金)まで、教育相談がありました。保護者の皆様には、お忙しい中、学校においでいただき誠にありがとうございました。今後も家庭と学校の連携をしっかりとりながら学校教育活動を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。